

V-LOWマルチメディア放送への 準備状況と取組のご報告

2011年9月

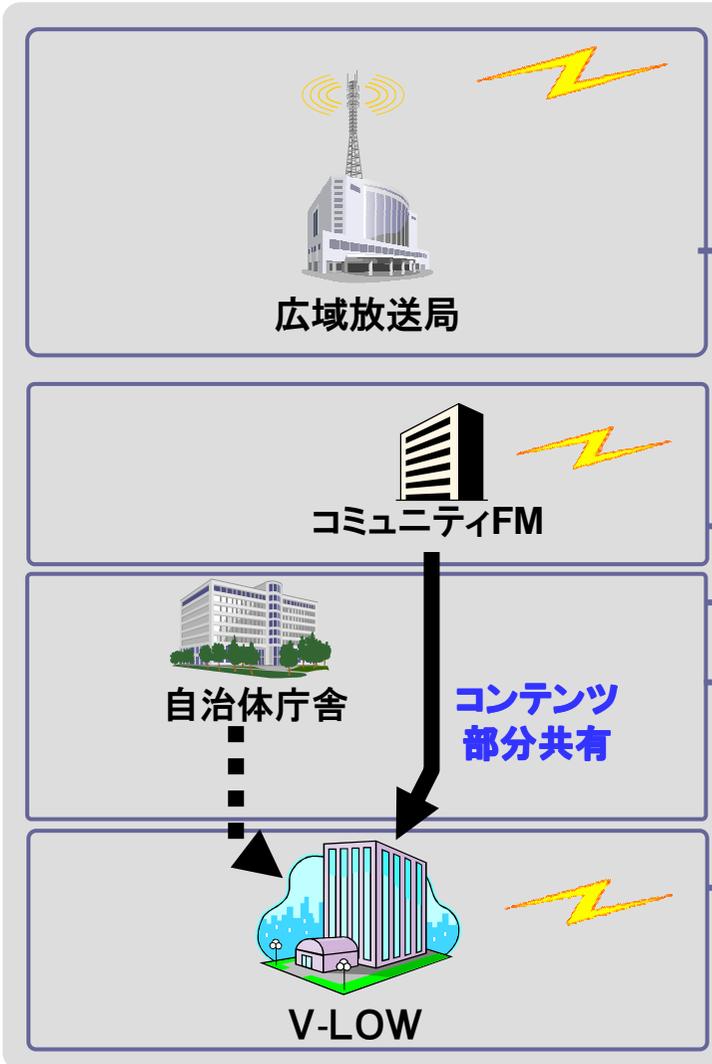
株式会社日立国際電気
八木アンテナ株式会社

Contents

1. 受信者から見た情報伝達手段
2. 送信システムイメージ(案)
3. 送信ネットワーク構成(案)
4. V-LOWのあり方
5. V-LOW送信機と防災システムとの連携適用例
6. 今後の取組

1 受信者から見た情報伝達手段

■情報発信



■情報受信

■現在の情報取得手段

●広域情報

- ・プッシュ型: テレビ/ラジオ/ワンセグ対応携帯端末
- ・プル型: PC(インターネット)

●地域情報

- ・コミュニティFM
- ・プッシュ型: 防災行政無線(屋外拡声器)
- ・プル型: PC(インターネット自治体HP)

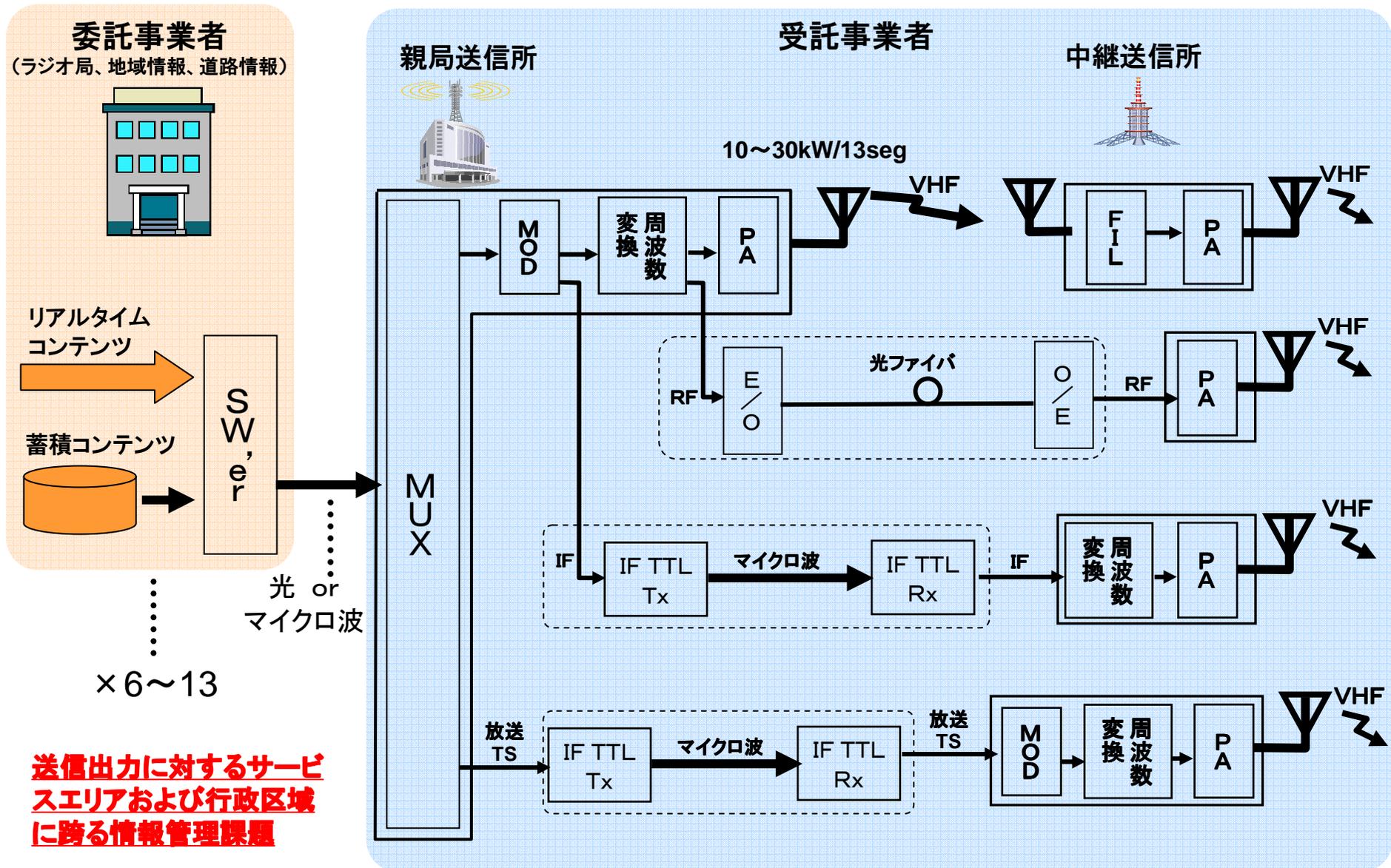
■V-LOWの活用 【多様な情報伝達】

●市町村単位

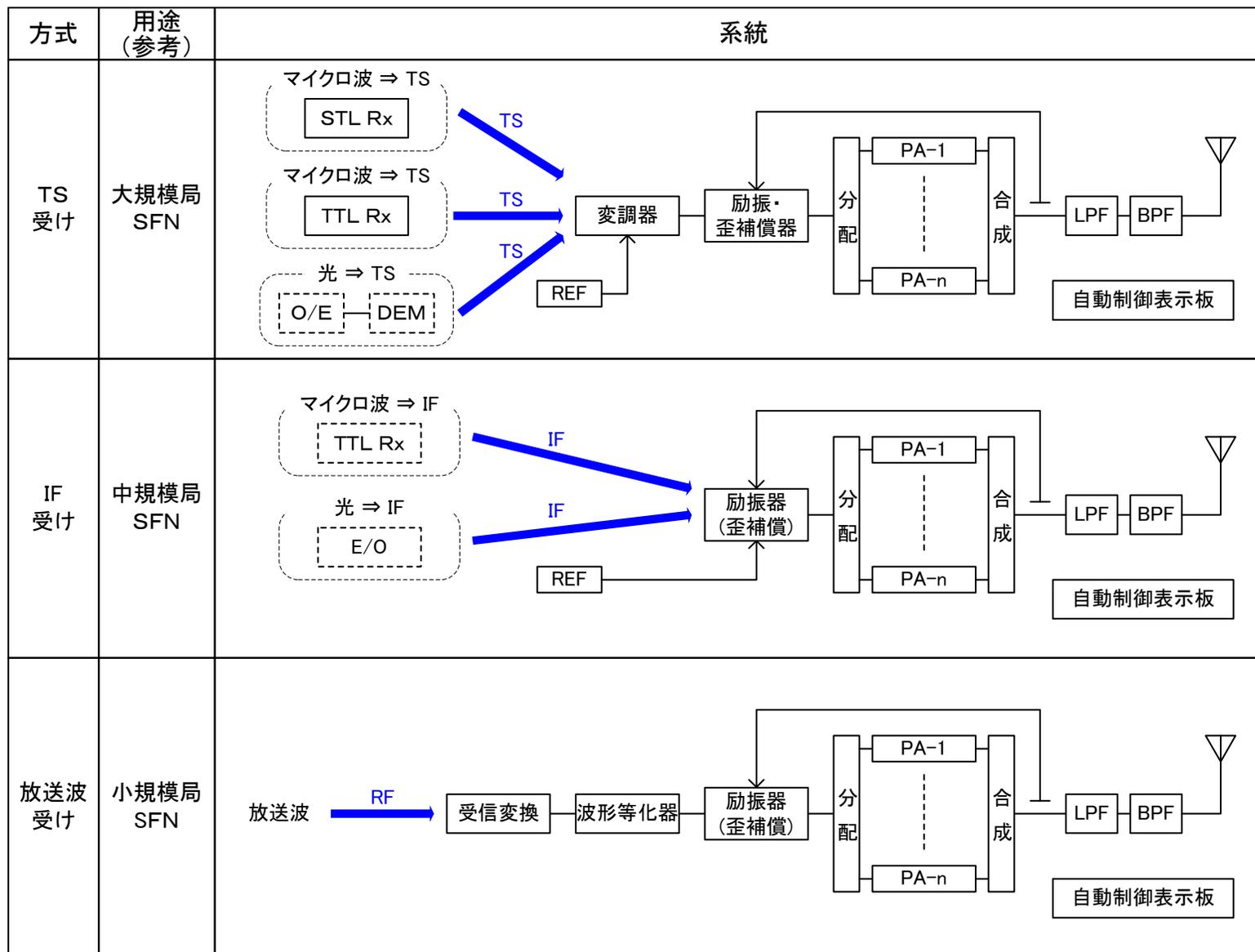
- ・プッシュ型: V-LOW対応受信端末
- ・商業放送の新たな伝送手段
- ・地域密着の情報を誰でも無料で視聴可能
- ・災害時にも安定受信可能

多様な他システムとの連携・補完の在り方検討事項

2 送信システムイメージ(案)



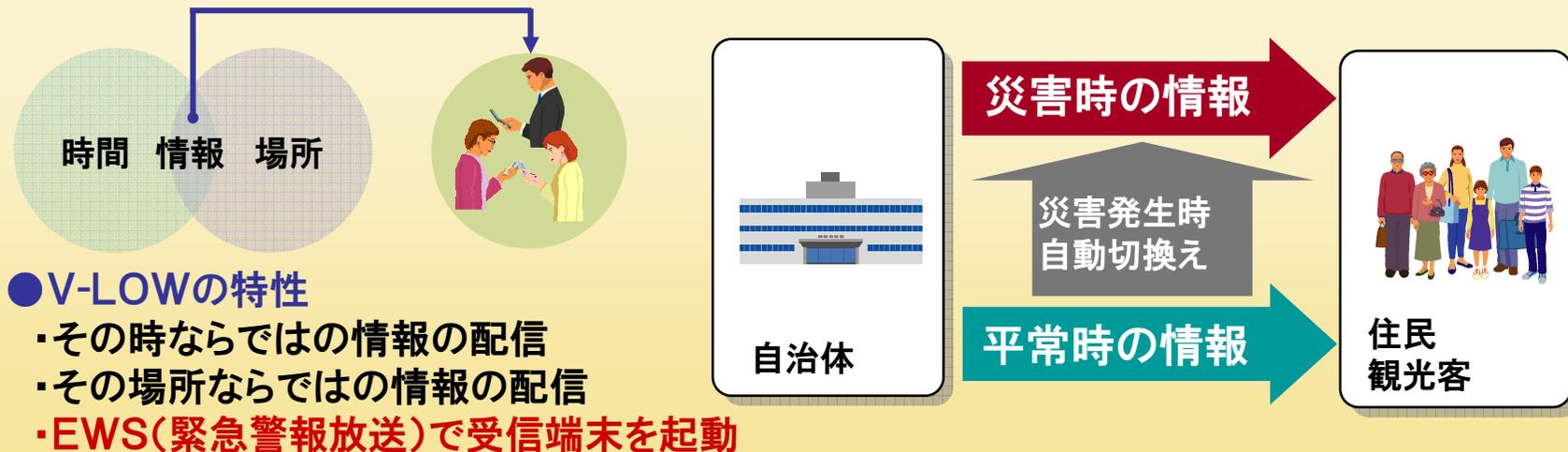
3 送信ネットワーク構成(案)



4 V-LOWのあり方

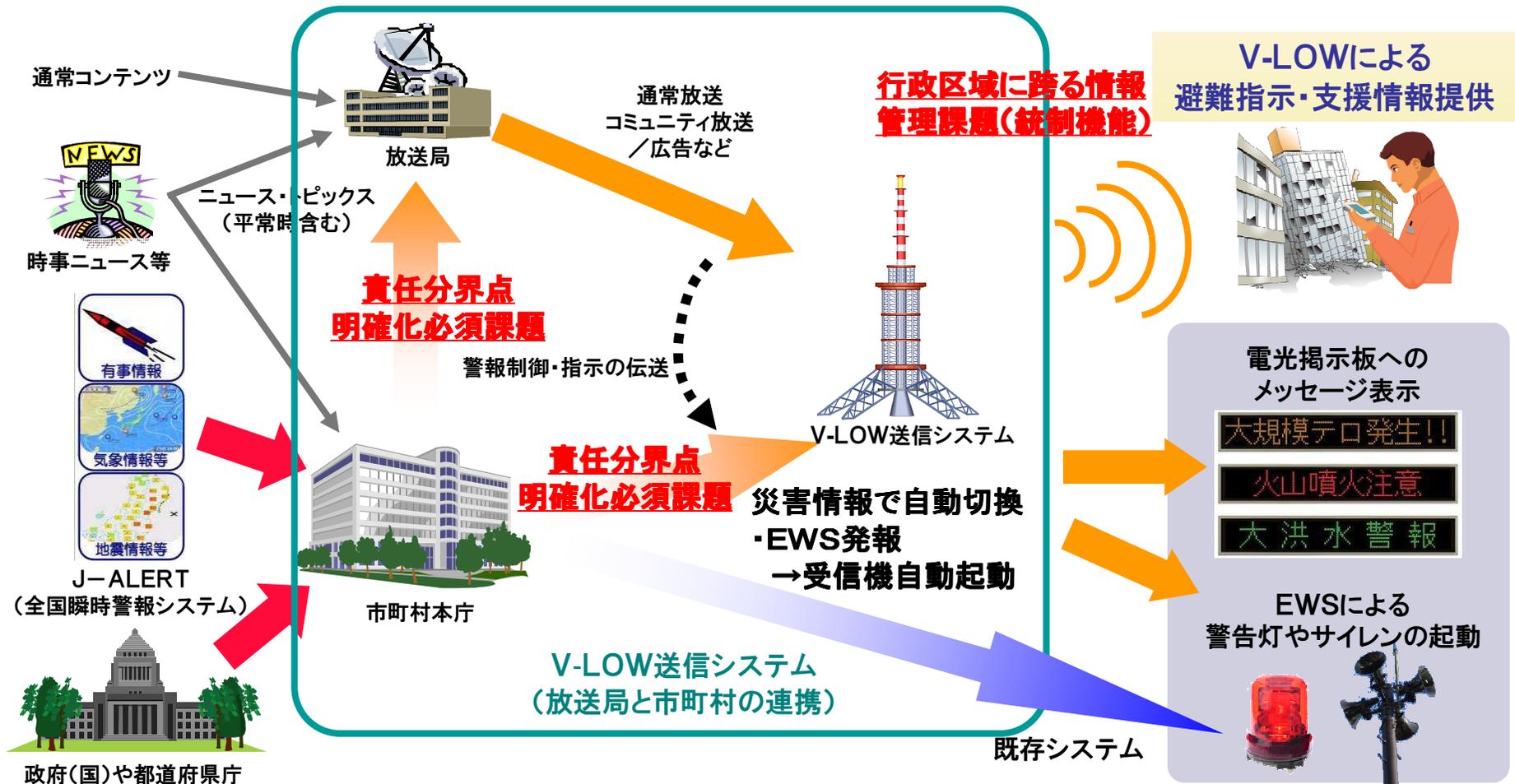
住民、観光客のためのV-LOWの活用

- 災害時の情報配信システムとして、V-LOWは有効な手段の1つです。
- 平常時に、安心して豊かな生活を支援する情報を配信できます。



5 V-LOW送信機と防災システムとの連携適用例

平常時はラジオサイマル放送・生活情報などを放送。災害等は緊急性の高い必要最小限の情報伝送を補完する切れにくいシステムとすることをご提案致します。



6 今後の取組

- 実証実験用送信機(100W級)の供給
- 実証実験への参画
- STL/TTLの周波数確保及び伝送規格の策定
- V-LOW対応受信端末の可能性について調査中
- 空中線系の供給(八木アンテナ)